

街頭写真から「色に対する気分」を見ることにします。

A：目立つカラー：身に着けているアイテムの中で彩度の高い色動向

B：着装カラー：着ている服の色動向

C：アイテムカラー：各アイテム毎の色動向中心に、街頭写真のポイントなどを報告します。

概要

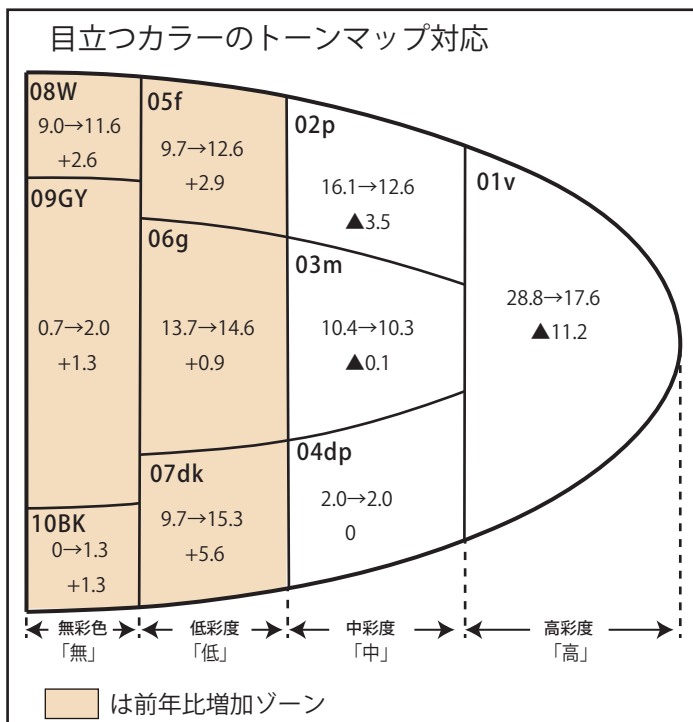
日時 2015 年 9 月 02 日 29 度

2014 年 9 月 02 日 30 度

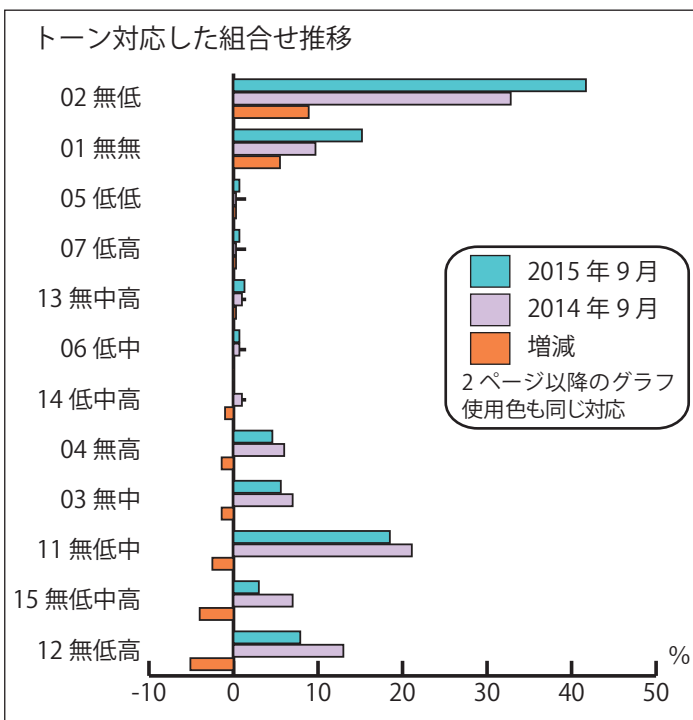
場所 神戸元町 (神戸大丸近く)

対象 20-50 代女性

A：目立つカラー (服以外含む)

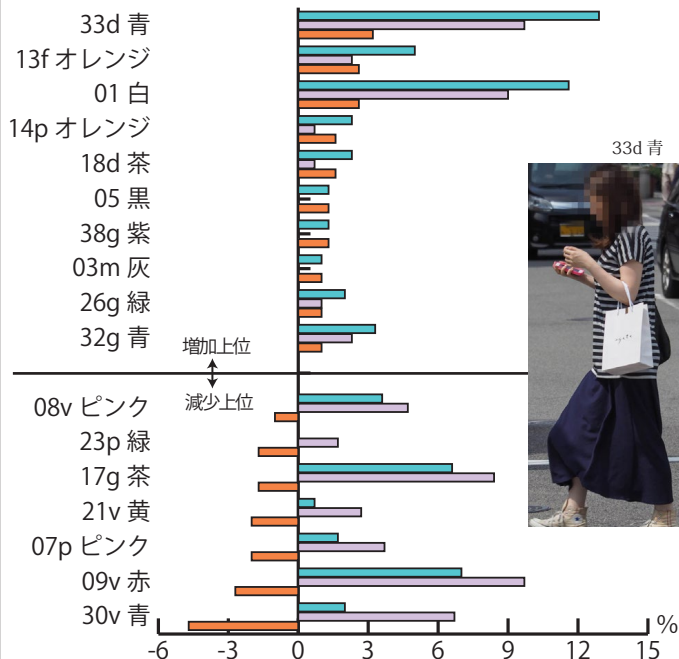


彩度別略文字とトーン対応				トーン記号			
無	無彩色	(08W 09GY 10BK)		1v	鮮やかな	06g	灰み
低	低彩度	(05f 06g 07dk)		02p	淡い	07dk	暗い
中	中彩度	(02p 03m 04dp)		03m	にぶい	08W	白
高	高彩度	(01v)		05f	かすかな	09GY	灰
						10BK	黒

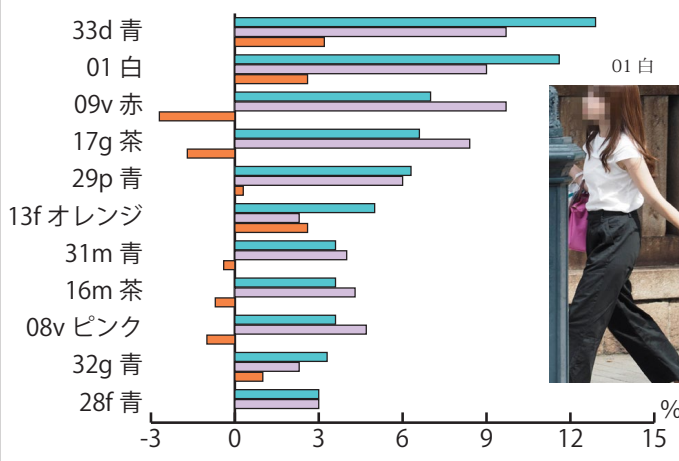


目立つカラーと着装カラーが似ていることが特徴となっています。目立つカラーのトーンマップを見ると、低彩度、無彩色が増加しています。反対に、高彩度が大きく減少、組合せも、02 無低、01 無無が伸びている一方、「高」からみの組合せが減少しています。ブルー系に特徴が表れており、目立つカラー増加 1 位はダーク青、減少 1 位はビビッド青となっています。アイテム的には、ジーンズ、スカート、セーターが伸びています。次ページの着装カラー色相集約で見ると、目立つカラー同様、ニュートラル系がリード、オレンジ系が増加で続いています。違いを見ると、白は目立つカラーで、黒は着装カラーで目立っています。赤系は目立つカラーでは減少だが、着装カラーでは増加しています。ピンク系は共に減少しています。

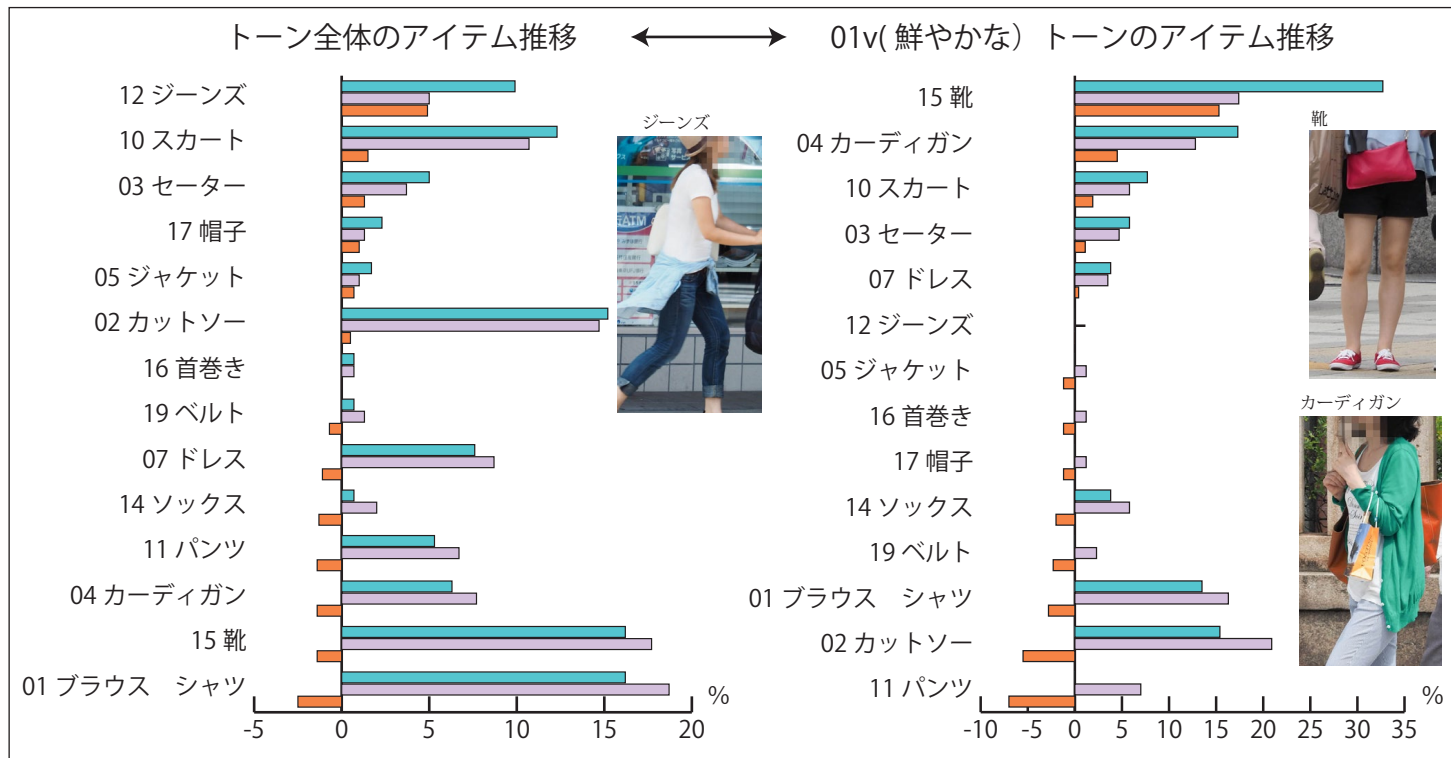
目立つカラー増減 (上位)



目立つカラー量的に多い順 (上位)

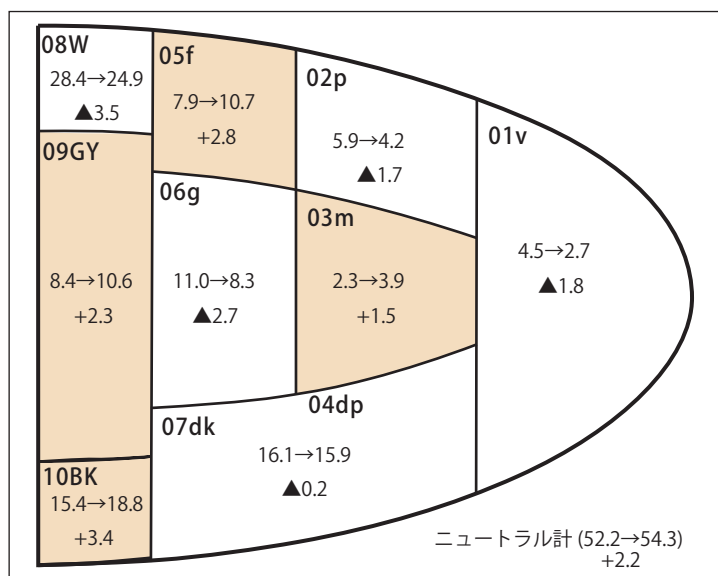


A：目立つカラー（服以外含む）

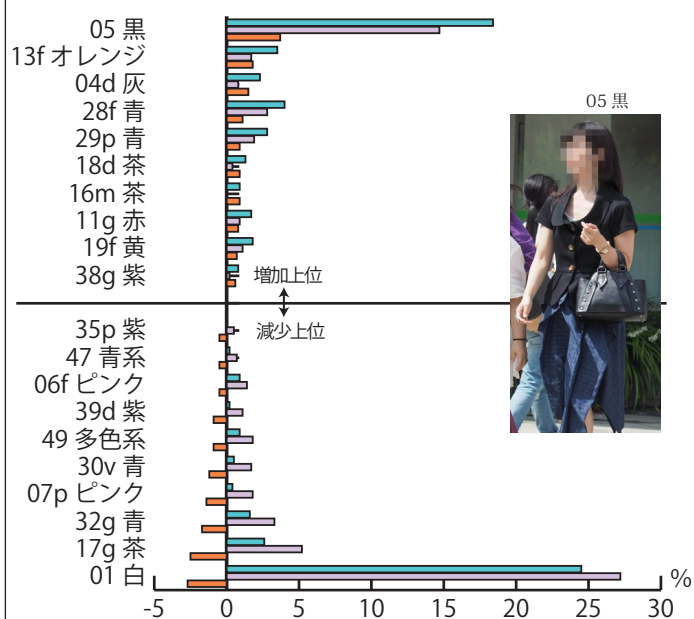


B：着装カラー

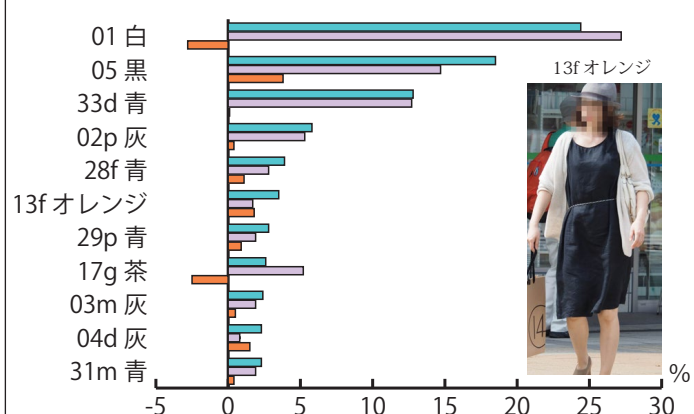
街頭で見た印象に近い着装カラー（服のみ）



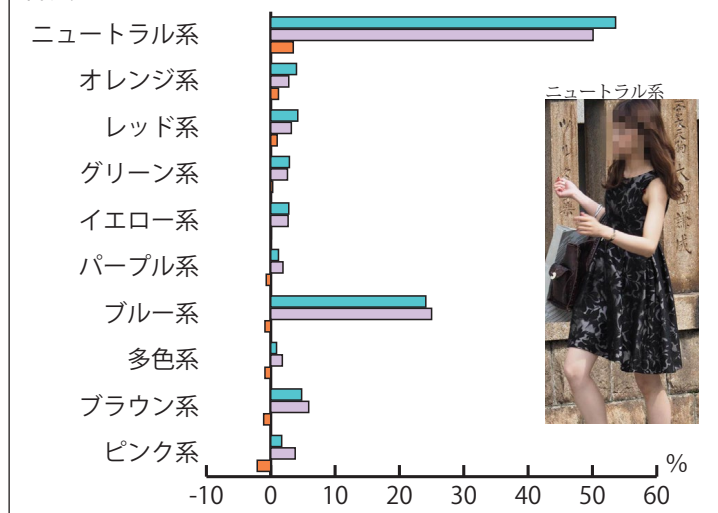
着装カラー増減（上位）



着装カラー量的に多い順（上位）

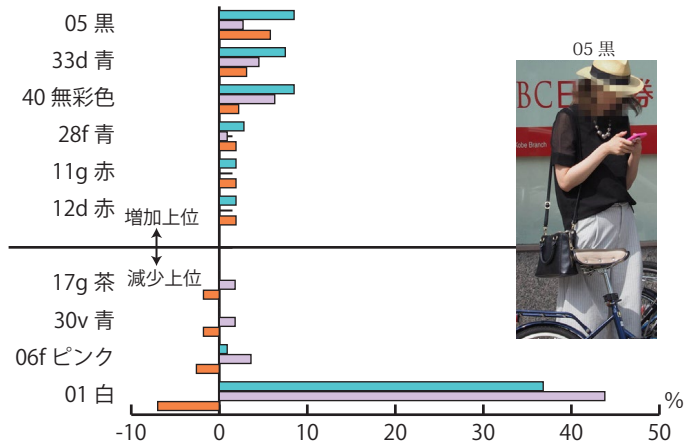


着装カラー（色相集約）

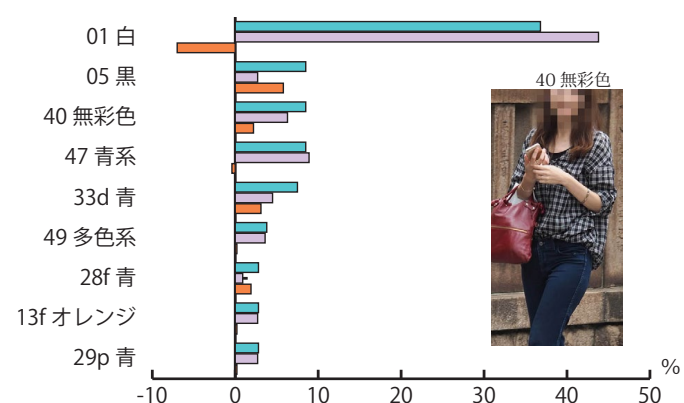


ブラウス

着装カラー増減 (上位)

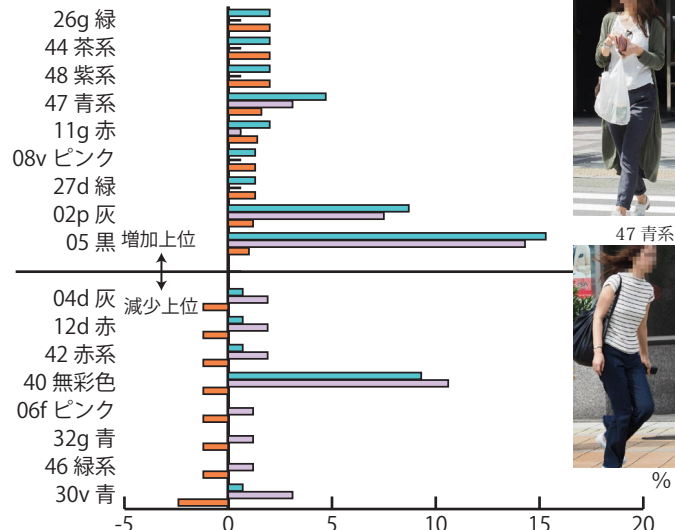


着装カラー量的に多い順 (上位)

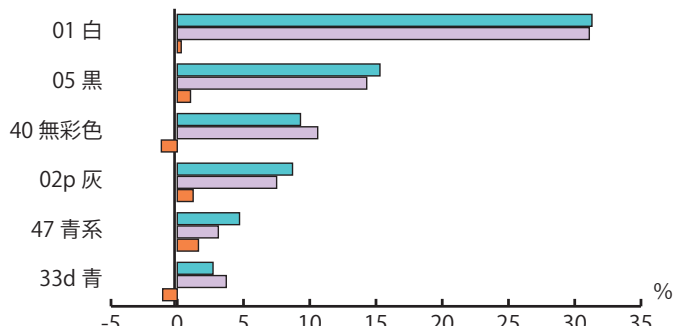


カットソー

着装カラー増減 (上位)

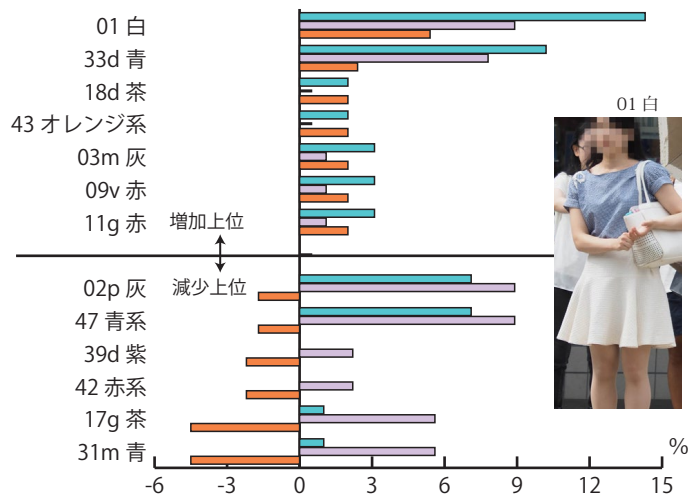


着装カラー量的に多い順 (上位)

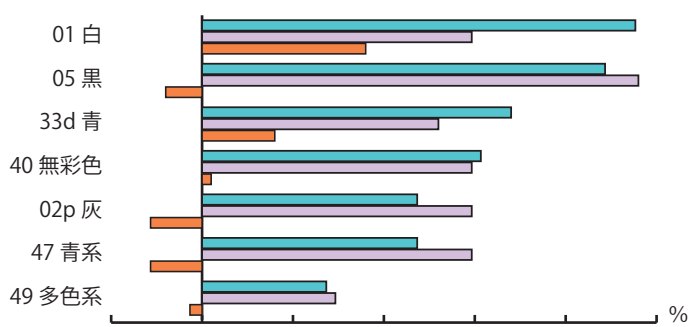


スカート

着装カラー増減 (上位)

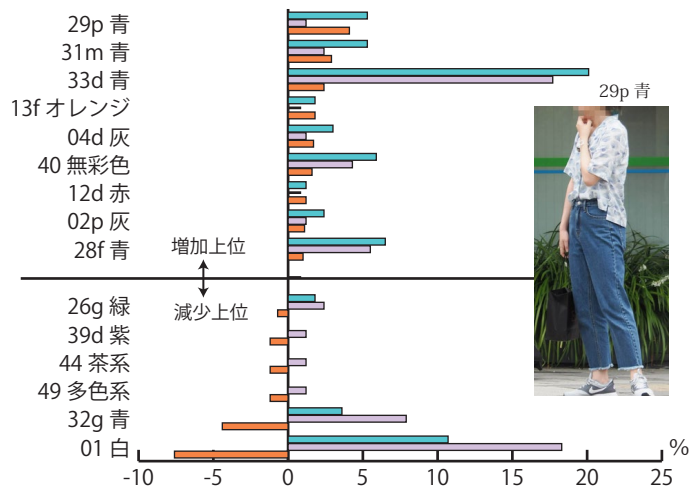


着装カラー量的に多い順 (上位)

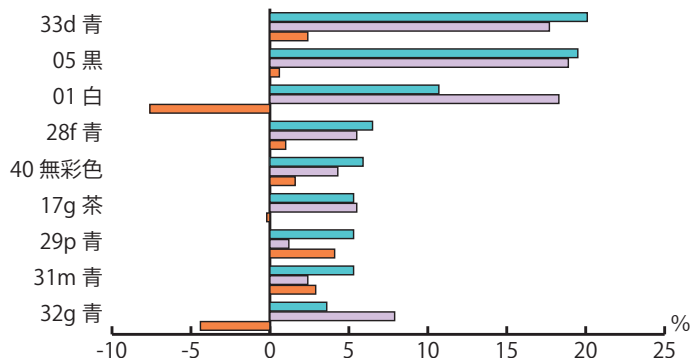


パンツ

着装カラー増減 (上位)



着装カラー量的に多い順 (上位)



街頭写真のポイント

目立つカラーはダーク青、ニュートラル系がリード

オレンジ系、グレイッシュ系が続く

色相集約増加順は、ニュートラル系 +5.3、オレンジ系 +3.6
量的に多い順は、青系 31.3、ニュートラル系 15.2



着装カラーはニュートラル系が多い



着こなしいろいろ

ゆったり感

パンツが目立つ



生地組合せ



肩ポイント

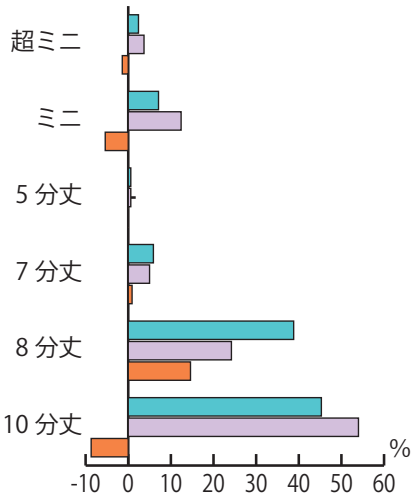
立体感、ノースリーブ



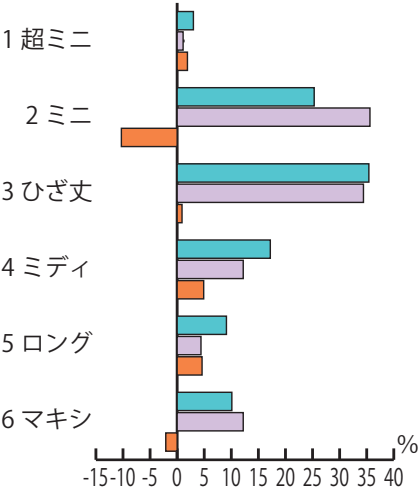
羽織風



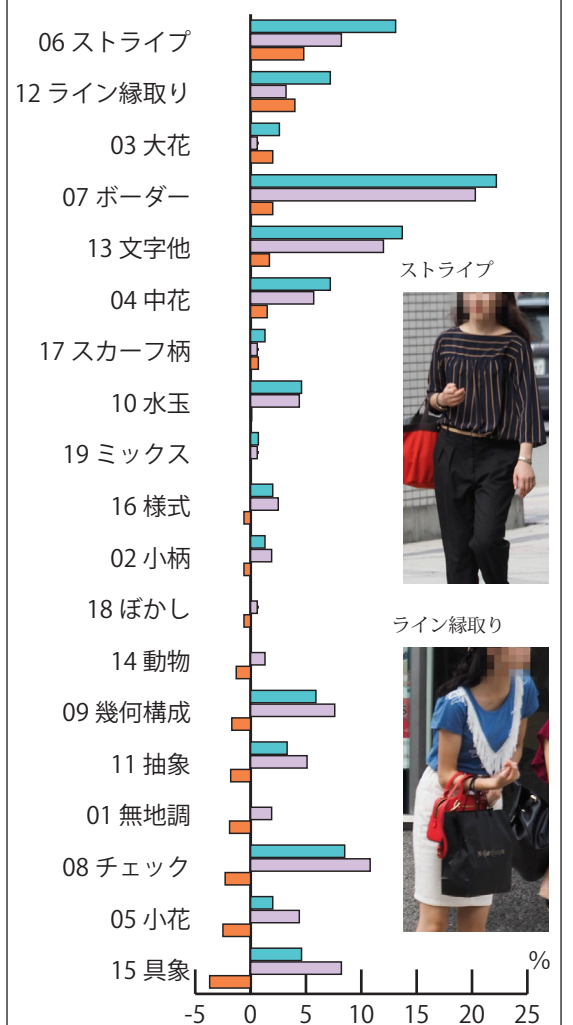
パンツ丈推移



スカート丈推移



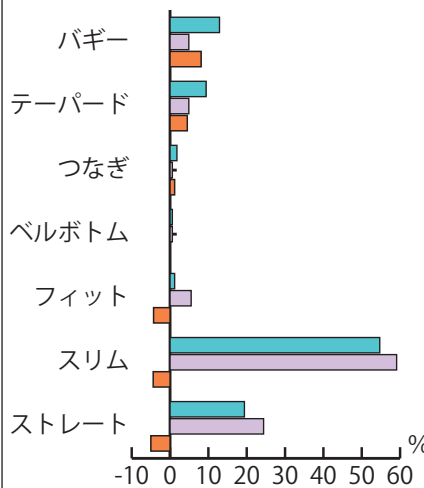
柄タイプ推移



ストライプ

ライン縁取り

パンツ巾推移



靴タイプ推移

